

かがやき 新聞 11月号

京都市役所 文化市民局 地域自治推進室

京都市北部山間かがやき隊 京北担当

菅本 千尋

お問い合わせ(右京区役所 京北出張所)

電話(075)852-1811

E-mail suadc132@citv.kvoto.lg.jp

【西の鯖街道フェアとして出展しました】
10月14日はイオン桂川で開かれた西鯖街道フェアに参加しました。前から思っていました。が、京都の方は本当に鯖寿司を買う方が多いですね。一本1500円ほどの鯖寿司を見て「あら安いく」という主婦の反応を聞いて三重県民(というとおおげさですが)の私は驚きました。私の地方ではあまり食べる文化ではないので、文化の違いを感じます。かくいう私も、こちらに来てから鯖寿司を食べたら、美味い!とややハマってしまいました。また美味しいのを食べたいですね。

【黒田・秋のふれあいまつり】

10月28日は、京北に来てから毎年の恒例となった黒田のふれあいまつりへ参加しました。この3年間毎年晴天に恵まれ、この日も多くの来場者が黒田で採れたお野菜や、ジビエ料理、屋台料理に舌鼓をうつっていました。催しを開催するには準備にずいぶんと労力が必要ですが、こうして来場された方々の歓談されている所を見ているとがんばってよかったなあ、と毎年思えます。

イベント終了後は、黒田名物の撤収の早さで、一時間足らずであつという間に会場が片付いてしまいました。終わった後は差し入れの缶コーヒーを飲みながら参加者のみなさんでだんらんのひととき。とても楽しい時間を過ごす事が出来て楽しかったです!



【初のシカ・イノシシ解体をしました】

10月24日は朝から農作業を手伝うつもりが、急きよ農にかかった猪と鹿の解体作業を手伝う事になりました。初めての事なので自信がありませんでしたが、やってみると意外にも平気で、昔にした事がある様な気にもなりました。普段何気なく食べる肉ですが、こうして自分で解体し、食肉にする厳しさに向き合う事で「いのちをいただく」とへの真剣さがありますように感じます。作業後には自然と手を合わせていました。まちの暮らしだけでは得られない経験が体験できる京北の暮らしに感謝です。

